

研究課題： 当センター新生児病棟における哺乳支援の取り組みの報告

1. 研究の目的

当センターの新生児科では、2021 年から看護師と理学療法士が共同で使用できる哺乳評価を導入しました。この評価をもとに、哺乳の開始時期や、どのような支援が必要か、また、詳しい検査が必要な場合の実施基準などを検討しています。

本研究では、医療スタッフが協力して哺乳を支援する仕組み（哺乳支援プロトコル）の導入までの経過や内容を振り返り、課題や成果を明らかにすることで、今後のよりよい哺乳支援の方法を検討することを目的としています。

2. 研究の方法

2019 年 4 月～2025 年 2 月末までの間に当センター新生児病棟に入院された患者様のうち哺乳に関連する問題を抱え、支援が必要と判断された方の診療録、哺乳支援に関する会議録、医師・看護師・理学療法士が実施した勉強会の記録を基に、プロトコル導入までの経過を調べてまとめます。

3. 研究期間

2025 年 3 月（倫理委員会で承認された日）から 2028 年 3 月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

2019 年 4 月～2025 年 2 月末までの間に新生児科内で行った哺乳支援に関する会議録、診療録、医師・看護師・理学療法士が実施した勉強会のすべての記録を調べまとめます。

診療録からは、個人情報を含まない哺乳評価の内容、検査所見、治療方法や方針が含まれます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：保健発達部	副技師長	碓井 愛
研究分担者：保健発達部	副技師長	白子 淑江
保健発達部	主任	金澤 郁恵

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年6月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）